



AWAJI PRESS

45th Anniversary

『絆の未来』



2007年度スローガン

確かめよう 淡路の礎
そして45回目の変革

2007 vol.1.2



2007年度 社団法人日本青年会議所 近畿地区 青年プロダクション協議会
「プロダクト
BASIC and SIMPLE」はひととつ〜



Contents

- 理事長雑感 2
- 2006年度褒章報告 3
- シリ-ズ歴史インタビュー (原井台孝雄氏) 4
- 新入会員紹介 5
- 事業報告・事業告知・編集後記 6



社団法人 淡路青年会議所

www.awajijc.org.jp



於：京都会議プロダクト



2007年度理事長
木下 学

雑感

2月に入り、冬らしい寒い日と春のような温かい日が数日おきに繰り返されています。メンバーの皆様、お体に変わりございませんでしょうか。さて、2007年が開幕して早いもので40日が過ぎました。1月は新年祈願に始まり、理事会、例会、総会、新年会、京都会議そして各地青年会議所の新年会への出席と大変内容の濃い1ヶ月でした。改めて振り返ってみますと、皆様のお陰で本当に良いスタートが切れたと、心より感謝申し上げます。

さて、淡路JCIにおいてホームページというのはいまや当たり前の存在で、年々その内容がアップしていることとはご承知の通りです。淡路JCIにホームページが出来たのは今から7年前の2000年、実はその当時の委員長は私だったのです。今思い出すと見るのが恥ずかしくなるようなお粗末な内容です。それを歴代の委員会が創意工夫し、今年は周年の年ということで総務広報委員会の皆様に44年の軌跡という素晴らしいコンテンツも整備いただき、どこに出しても恥ずかしくない充実した内容となっております。このホームページの進化に見られるように、JCIの特に継続事業は過去をしつかりと検証、そして礎とし、その年のあるべき姿に向け突き進めばさらなる成果が得られるのです。さらに上を目指すというのはその年の担当委員会の使命であり、それが出来るのも礎のお陰なのです。各委員会において更なる進化を期待します。

例会委員会の皆さんよろしくお願ひします。総会におきましては2006年度の事業報告・決算報告が無事可決承認いただきました。いよいよ始まるというタイミングは過去にも幾度とありましたが、この瞬間も身が引き締まる思いでありました。そして続く新年会におきましては多くの来賓、OBの先輩方にもお越しいただき盛大にスタートをお祝いすることが出来、また皆様のお陰で淡路JCIとしての”おもてなしの心”もしっかりお伝え出来たと思ひます。会員委員会の皆様には事前の企画・当日の運営まで、本当にお疲れ様でした。京都会議においても多くの皆様にご参加いただき、畑野出向理事の激励がしっかりと出来たと思ひます。才花出向理事に負けないよう1年間頑張っていたきたいと思います。Jaycee研修委員会の皆さんにおかれましてはLOMナイト設営、お疲れ様でした。会議ごとに目的も変わり設営にはご苦労をお掛けいたしますが、これからもよろしくお願ひします。

これからは各委員会において事業が活発に展開されます。今月は今日の例会に始まり、公式訪問役員懇談会、飛躍する会、新入会員セミナーと目白押しです。共通して言えるのは積極的に参加することで新たな関わり、絆、価値観が生まれる大切な機会です。是非多くの方々にご参加いただきたいと思ひます。また、今年には会員拡大のため、各委員会に拡大担当を設けさせていただいていきます。まだまだのところもございますが、既にその効果も1部出てきています。是非大きな成果を得る為、皆様方のご協力をお願いいたします。メンバー全員がそれぞれの立場でご活躍いただき、個人としてそして組織として大きな成果を上げることを祈念し、2月理事長雑感と致します。





2006年度褒賞報告

2006年度スローガン
感謝 感激 感動 ~すばらしい明日のために~

2006年度が幕を閉じ、早くも1ヶ月以上たちました。
1月例会内で行われた、2006年度褒賞授与式から最優秀事業、会員、新会員の3人に受賞のコメントと感想そして今後の活動について語ってもらいました。

2006年度最優秀事業賞

淡路島映画祭「淡路島から生まれる
新たな国生み神話(心・和)」
2006年度 NEXTONE委員会
委員長 徳脇 浩次君

◆2006年を振り返って

「大変！」だったとしかいいようが無い。12月からずっと理事会で上程していたような気がします。

しかし、自身で腹を決めて手かせ足かせをつけた事によって自己修煉という意味ではよかったです。



◆徳脇委員長にとって「淡路島映画祭」はどのようなものでしたか？

反省することも多々ありましたが、事業自体の評価はまわりがしてくるので自分では何ともいえませんが、この事業を通じていろいろな人と関わりを持つことができた事が一番心に残っています。
本当に異業種の方や学生の方と語り合えた事によって色々な事を感じ、又若さをもたらすことができましたように思います。

◆全国行脚が1ヶ月近くにおよんだのですが、自分の中で決めたハードルをいかに越える事ができるか！それが出来たのもJCIのおかげだと思います。



◆もう一度JCIの「事業」をしたいと思います。もう一度「映画祭」をしたいです。

2006年度最優秀会員賞

2006年度拡大MAX委員会
川本 康仁君

◆2006年を振り返って

2006年は中西委員長の下、拡大MAX委員会の副委員長をさせて頂きました。また兵庫ブロックのJCI研修スクール委員会で副委員長をさせて頂き、何かと忙しい一年でありました。そんな中で仕事とJCIの両立、お世話になった方々と関わりを持つことが出来、また、人との関わりでの難しさ、人を診る力など様々な事を経験させて頂きました。



◆JCIマンとして心がけていること

JCIで経験して、養ったことを会社で、または社会で、発揮し、役立てていくことです。常に自己を修煉し、人間力を深め、様々な人から頼りにされ、信頼される人間になれるように心がけています。

◆2007年度に向けて
昨年以上に人間力を高めていきます。

◆ズバリJCIとは
わたしの思うに、JCIとは、漢をうる会ではないでしょうか？



2006年度最優秀新会員賞

2006年度会員交揚委員会
吉井 崇行君

◆入会してからこの1年を振り返って

1月の新年例会で杉浦理事長からバッジを授与していただき、理事長の前で決意表明をさせて頂いた時の気持ちは、卒業するまでいや一生忘れません。1年目は控えめにと思ってましたが、配属先の真野委員長率いる会員交揚委員会が非常に楽しかったので、自分でもよく行ったなって思うくらい参加させていただきました。まさかこのような素晴らしい賞をいただけることは、1年前には思ってもありませんでした。ありがとうございます！感謝の気持ちで一杯です！



◆吉井君の中で淡路JCIとは

淡路島を良くすることができる団体だと思います。
子供の時の文集で「淡路JCIに入って活躍したい！」って書いたのを思い出しました。夢？だったんですかね！

◆JCIの最初の印象
業種や地域の垣根を越えたいろいろな人がいて不思議な団体だと思います。

◆2007年度に向けて

JCI内でメンバーの皆様に積極的に関わります！中西委員長率いる45周年企画委員会副委員長として、小さいことからコツコツと頑張ります！



▶優秀委員会賞 チャレンジ委員会



▶優秀委員会賞 拡大MAX委員会

シリーズ
周年

第40代インタビュー

vol.1

第40代理事長

廣井啓男

先輩

今年度、創立45周年を迎える社団法人淡路青年会議所。その45年間の歴史の中で周年の節目に理事長を経験された歴代に当時の思い出や周年について、そして現役メンバーへの熱い思いを語って頂きました。

Q. 第40代として節目の理事長になられた時の思い

40代だからといって特別な思いはありませんでした。どの年度でもたぶん一緒だと思いますよ。

理事長を受ける事は一回しか無いから：40代よりも41代がいいとか言うのはおかしいと思うし、その年その年にそれぞれの思いがある！それが単年制のいいところとちがうでしょうか。

しかし自分なりにはかなり気合いが入っていた気がします。実行委員会でもかなり無理な意見を言わせて頂きましたし、思いを述べさせてもらいました。ただ、意見を言うたびに予算がふくれて困りましたけど(笑)

Q. 記念式典の意義

厳しい事を言えば記念式典はJCIの本来の目的じゃないと思います。「明るい豊かな淡路島づくり」をする団体ですから。

でも事業や日頃の活動においてお世話になっている方々や理解・協力して頂いている来賓の方に来て頂き、感謝の意を表す場でもある訳ですから失敗はもちろんだめ。下手打ったら絶対だめだと思えます。まず当たり前前の事を当たり前にきちんとやる事が大事だと思います。それが一番難しい！でもやらなはいけないと思います。

Q. 式典の時の思い出
朝に集まって朝礼をして、み

んな各部署に分かれて式典があつて祝賀会があつて：最後にお疲れ様の懇親会をひらいたのですけど、朝礼で顔を会わせてから最後の懇親会まで一回も顔を会わさないメンバーがほとんどでした。

メンバーは式典にもほとんど参加せずに設営や対応に追われていたと思います。それを感じたときに「ああ みんな精一杯がんばっているな！」と心から感謝しました。

出迎える立ち番とか大浜の前の横断幕とか当日は見る事が出来なかったけどメンバーの思いが伝わってきました。

Q. たしか祝賀会は座敷でされましたよね
予定者の時に委員長にお願いした記憶がありません。「絶対座敷でやってくれ」って！当日のコンセプトが「響」で挨拶でも「共に響き会おう」という事を述べましたから。でも賛否両論でしたね。普通は結婚式と同じで式典、祝賀会と同じ会場で移動が無い事が多いようですよ。しかも、ある先輩に「座敷はやめた方がいい」とも言われました。しかし僕自身は座敷でできた事に感謝しているしよかったです。聞いていたら反対するかも知れないですね(笑) 大変ですから：

Q. 今の淡路青年会議所に対して一言おねがいます

事業をきちんとしてほしいと思います。

社会へ訴えかけ世の中に波風が立つような事をしてほしくないです。問題定義があつて解決の手段を考えて提言していくのが事業だと思えます。

主旨目的がしっかりといてかつシンプルなもの方がいいでしょうね。

当然淡路青年会議所のアピール、イメージアップそして集客も必要だと思います。

淡路JCIを知ってもらおう意味でも事業でPRしないと新入会員も集まらないでしょう。

しかし本当に重くて堅苦しい意味のあるテーマを事業として出来るのであれば人が集まらなくとも事業をやる意味があると思うし、最終的には周りへ伝わ

って行くと思います。

Q. 45周年を迎えるメンバーに對して一言をお願いします

ありきたりの言葉ですけど「楽しみにしています」ですね(笑)。

インタビュー後記

当時の思い出や事業に対する熱い思い、そして記事に出来ないう内容まで楽しく伺うことができました。最後の「楽しみにしています」の言葉がもつ意味を感じ取る事が大切に感じました。廣井先輩ありがとうございました。

※実際のインタビューを元にご本人の了解を得たうえで記事を編集させていただきました。



確かめよう淡路の礎 そして45回目の変革
2007年6月5日(火) 淡路JCI 45周年記念式典





出田裕重 総務広報委員会 S50・10・16生O型

①淡路島の最南端(南あわじ市阿万)で出田鐵工(株)の専務取締役をしております。出田です。戦前は農機具や船外機の販売・修理、第二次大戦中は手榴弾やゼロ戦の部品製作、現在は淡路の地場産業を主とする窯業の機械設備や鉄骨建築等を主に担当しています。大学卒業後「瓦」の生産が日本一の愛知県(三河地方)で3年間機械の勉強をし、その時出合った現在の妻と結婚し淡路島に戻ってきました。二人の子どもが産まれ、淡路の人口が増えていくことに成功しましたが、今では会社の従業員が一人になってしまいました。この先どういった経営をしていくのか答の見つからない日々を送っています。淡路島に限ったことではないですが、不景気のうしろ子高齢化社会に突入し、JCどころではないと周辺の方は思っているようですが、何ごともやってみるといいのが僕の信条です。故郷の発展を祈りながら、少しでも人の役に立てればと思っています。

②「プラス思考」：恩師の口癖で、苦境と感じたときはいつも頭の中で唱えるようになります。今は生活する中でほとんどプラスに考えるようになってしまいました。人にもう一度思われているか気にするところがあり、体重も毎年増(プラス)で困っています。

③淡路青年会議所を通じて淡路の今、経営者の今を感じ取り、また島内に限らず出合いの場が無数にあると思いたためです。

④社会人としての礼儀、マナー等を一から学びなおしたいと思っています。また、淡路のことを内からも外からも広い視点でみることで、活動できる組織であると考えています。ご指導よろしくお願致します。



金崎浩一 青少年育成委員会 S44・1・27生 A型

①今年度、社団法人淡路青年会議所に入会させていただきました金崎浩一です。私は大学卒業後(株)プリジストンに5年間、東京と大阪にて営業の勉強をしてまいりました。平成7年淡路に戻り(株)金崎タイマー商会に入社し現在に至っております。当社は昭和22年に祖父・祖母が創業し、荷車のタイヤを取り扱うことから始まりました。現在はモーターリゼーションにより軽自動車から大型トラックまで幅広いタイヤとカー用品を扱っております。プリジストンのCM「タイヤはあなたの家族の命をのせている」をモットーに今後頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。平成18年に結婚し、妻と長男の3人家族です。子供の誕生に感激して、日に日に変わる顔を見るのが楽しみの日々です。

②心に残る言葉は「感謝ありで日々過ごす」です。私が成人式を迎える日に祖父より「まわりの人へ感謝の心を忘れなさい」といわれました。今現在の自分があるのもまわりの人々・ご先祖様・両親が支えてくれていたのおかげであり、この「ありがとう」という言葉と感謝の心を常に持ち続けていきます。

③メンバー及びOBの方々からお誘いをいただき、明るい豊かな淡路島となるような地域の事業活動にすこしでも関わることができればと思入会を決意致しました。

④JCへ「結婚したら入会させてください」と思っており、年齢がなかなか縁が遠く、新入会員としては年齢がいつておりますが精一杯活動に参加して参ります。素晴らしい先輩の方と一緒に自分不足している部分を補って人格のレベルアップを目指しがんばっていきたく思っておりますので今後共々指導頂きますよう宜しくお願い致します。



たがなかなか縁が遠く、新入会員としては年齢がいつておりますが精一杯活動に参加して参ります。素晴らしい先輩の方と一緒に自分不足している部分を補って人格のレベルアップを目指しがんばっていきたく思っておりますので今後共々指導頂きますよう宜しくお願い致します。



- ①自己PR
- ②心に残る言葉
- ③入会の動機

新入会員紹介

- ④JCで学びたいこと
- ⑤あなた自身を漢字一文字で表すと



出口利一 45周年企画委員会 S48・11・18生 A型

①今年度から入会致しました、出口利一です。南あわじ市市(パルティ横)で一戸建て・不動産販売及びリフォームの(株)出口工務店を営んでいます。私はその中で一戸建てとリフォームを主に手掛けています。今の経営に携わるまでは、大阪のハウスメーカーで工事管理を6年間していました。その経験や知識を自社に注ぎたいと淡路島に戻り、約7年が経ちました。家族構成は妻と7ヶ月になる息子の三人で本市に暮らしています。息子の誕生で生活リズムが息子中心と化していますが、今まで以上に公私共に遣り甲斐が出て来ています。趣味は親バカになってしまったのと家族と近く居たいので、自宅でも出来るものを探して、車いじりと庭いじりを始めました。これが結構面白く没頭して、最初は喜んでいただけませんが、近々趣味の中にいれたらと思っています。後ゴルフの方は、未だ面白い領域に入っていない感じが、近々趣味の中にいれたらと思っています。

②心に残る言葉は「志高頭低」です。どのような地位にいても、志を高く・感謝の気持ちを忘れず・頭(腰)を低く、他人、家族を大切に出来る人になれと、大阪で勤務時の下請けの工務店社長に教わりました。私は日々念頭に掲げている言葉です。

③入会の動機は、過去二回お誘いはありましたが、淡路島に戻って間も無かつた事等もあり断っていました。その後JCの先輩から3度目の勧誘があり、例会の間に真面目に考えようと思っていたら、あつという間に3回例会出席。考える間がありませんでした。自分磨きの場として、ここ数年社交の場が少なかったことの打開策を併せ持つのがJCだと思います。入会を決意致しました。

④仕事や趣味と同じで、始めてみないと面白くも面白くない。先ずは委員会へ出来るだけ出席し、諸先輩方に教わりながらJCの事業に取り組み、共に活動し、これからの会社経営や自己能力の向上に役立っている事を探したいと思えます。これからのご指導宜しくお願い致します。

寺西正典 憧れの島創造委員会 S47・10・5生 A型

①本年度より入会させて頂くことになりました寺西正典です。現在淡路市佐野で総合建設業の(株)寺西工務店で勤務しております。今までも建設業に携わっていましたが、今年で勤務して3年目であり、日々奮闘している毎日です。私の家族は妻と娘と最近誕生したばかりの息子の4人家族です。現在は仕事朝早く夜遅くの日々が続き、たまの休みもふれあい、遊んでいます。やはり家族の理解ありきだと思っております。ですので、最近というものは趣味の旅行や今の季節のスキーもいけておりませんが充実した生活を過ごしています。

②「つねにチャンス、いつもピンチ」で日々の生活はチャンスとピンチに充ちている。ピンチをチャンスに切り換える人、順調にあつて喜びすぎず、逆境にあつて悲観せずを肝に銘じ人生の大道を歩もう。そう常に考え行動したいものです。

③非常に熱心な先輩の話やポジティブな考えを聞くことが多く、以前より何度かお誘い頂きましたが入会することができませんでした。時間を有効に活用し、時間をつくっていくのも大切である。とアドバイス頂き、それが実行できる場もここJCと考えるたび、入会致しました。准会員の際に頂きましたが、皆様がすごい実行力であると感じました。

④JCの行事等の参加を通じて、より多くのネットワークを広げて、皆様の意見・考えを聞き一つでも多く知識等を吸収して、「できる」というから真剣になり「できる」という信念で取り組むように頑張りたいと思います。淡路島という地域を自分自身もよく知ることで、いろんな方に淡路島の良さもPRしていくように学んでいきます。



から真剣になり「できる」という信念で取り組むように頑張りたいと思います。淡路島という地域を自分自身もよく知ることで、いろんな方に淡路島の良さもPRしていくように学んでいきます。



事業報告

1月新年例会事業報告

例会委員会 委員長 泊 裕隆
 去る、1月11日(木)、「確かめよう淡路の礎」そして45回目の変革」のスローガンのもと、2007年度の最初の事業であり1月新年例会が開催されました。

私自身、初理事と言う事で(年齢的にも最初で最後ですが)予想以上の緊張感があり、「これが理事の重圧ってやつなのか」と感じました。会場設営をする際には「思いもよらない出来事」や「これ完壁や」と思った矢先にハード面の漏れを発見したり... 委員会メンバーは勿論ですが、他のメンバーにもかなり助けていただいた感があります。

出席率に關しましては皆様のお陰を持ちまして、81・67%と言う過去5年間の最高出席率をマークする事が出来ました。本当にありがとうございます。至らぬ点が多々あると思いますが指導・鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

今後の例会の更なる出席率の向上を祈念いたしまして、1月例会の報告とさせていただきます。

新年会事業報告

会員委員会 委員長 廣井 公壽
 去る1月11日淡路夢泉景にて新年会を開催いたしました。当委員会としては最初の事業で理事会の段階からとても苦悩しました。

今までは何も考えず参加する立場から一転、企画設営：ああでもない、こうでもないのトライ&エラーを繰り返し、本番を期待半分、不安半分で迎え、終わった瞬間の委員会メンバーの笑顔は「素敵やん!!」と思わず思ってしまった。

普段は何も感じなかったのに：新年会での経験を今後の事業に役立てたいと思います。当日は多くの来賓、OB、現役メンバーにご参加していただき本当にありがとうございました。

会員拡大決起集会報告

会員委員会 副委員長 原田 啓行
 総務広報・会員委員会によりまして会員拡大に向けての決起集会が1月26日(金)に行われました。参加メンバーからさまざまな意見をいただき、大変有意義なものとなりました。

懇親会では理事長の激励をいただき、あらためて身の引き締まる思いがいたしました。会員が急激に減少する昨今、容易な事ではありませんが、昨年度を越えられるように尽力したいと思っておりますので、皆様の一人ひとりのご協力何卒よろしく願います。



事業告知

兵庫ブロック公式訪問役員懇談会

総務広報委員会 委員長 上河 護
 明後日になります2月16日(金)ホテルアレックスに於きまして2007年度 兵庫ブロック協議会役員懇談会が行われます。

今年度我がLOMからは、才花毅君が地域のアイデンティティ創造会議議長として、出向しておりますので多くのメンバーでお出迎えしたいと思います。又、スポンサーLOMであります社団法人明石青年会議所との同時開催となっております。

社団法人明石青年会議所の活動や情報を直に体感できる良き機会ですので何かとご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

新入会員セミナー開催のお知らせ

Jaycee研修委員会 飛松 孝治
 来る2月23日(金)18時より淡路島観光ホテルにて新入会員及び入会3年未満の皆様はJCMンとして活動を行う上で欠かせない基礎知識、心構えをしつかりと習得、理解して頂き、英知と勇気と情熱をもってJC活動に取り組んで頂く事、また正会員の皆様に今一度基本を再確認して頂く事を目的とし「新入会員セミナー」を開催いたします。

公私何かとご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

3月45周年合同例会

例会委員会 委員長 泊 裕隆

来る3月14日(水)、海月館にて開催されます3月例会は、淡路青年会議所の過去の礎を再確認し、45周年に対する意識高揚を目的として開催する予定です。タイトルにある「合同例会」の「合同」とは、我々現役メンバーとOB会員の合同で例会を行うという意味であります。歴代理事長の講演など、非常に内容の濃い充実したものになる予定です。

公私なにかとご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

才花出向者の動き

(社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 地域のアイデンティティ創造会議議長)

- 2月14日(水) 南但・美方公式訪問役員懇談会 例会
- 2月16日(金) 明石・淡路公式訪問役員懇談会
- 2月19日(月) 篠山・丹波公式訪問役員懇談会
- 2月22日(木) 香住・豊岡公式訪問役員懇談会
- 3月8日(火) 神崎・姫路公式訪問役員懇談会
- 3月13日(火) 伊丹・川西公式訪問役員懇談会
- 芦屋・西宮公式訪問役員懇談会

畑野出向者の動き

(社団法人日本青年会議所 近畿諸国歴史検証委員会)

- 2月17日(土) 福岡 福岡委員会

JC NOW

- ・審議事項
 - (1) 2月危機管理意識向上例会の件
 - (2) 兵庫ブロック協議会公式訪問役員懇談会の件
 - (3) 新入会員セミナーの件
 - (4) 3月45周年記念合同例会の件[一部審議]
 - (5) その他
- ・協議事項
 - (1) 45周年記念合同例会の件 [2/2]
 - (2) 前期入会説明会 [2/2]
 - (3) 淡路島フィルムオフィス提出金の件 [1/2]
 - (4) 4月Jaycee研修例会の件 [1/2]
 - (5) Jaycee研修例会の件 [1/2]
 - (6) 第13回わんぱく相撲淡路場所の件 [1/2]

編集後記

JCプレス2月号いかがでしたでしょうか？さて、今年度は社団法人淡路青年会議所の創立45周年ということで、今年から周年の歴代理事長にインタビューをいただきます。事務局に行く、いついつても「あ、誰かいる」というぐらいどの委員会も盛り上がりを見せていて、今年度の事業に向けてJC活動本格化で盛り上がりを感じます。

総務広報委員会では、これから次々と展開される事業で皆さんの熱意を感じ、伝えるという事をテーマにプレス作成に挑みます!! ホームページでは「スポットライト」で皆さんの日頃の活動を載せていきたいと思います。日頃の事業までの委員会の模様や、これまで光のあたらなかった地道な活動をできるだけ載せていきたいと思いますので「どうぞ」期待下さい。